

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)

【公開番号】特開 2002-85693 (P2002-85693A)  
 【公開日】平成 14 年 3 月 26 日 (2002.3.26)  
 【出願番号】特願 2000-278927 (P2000-278927)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 9

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 3 月 18 日 (2009.3.18)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

予め設定された変動開始条件を満足する場合、可変表示装置上に表示される複数の識別情報の変動表示の過程及び結果を決定する変動表示態様決定手段と、

前記複数の識別情報が変動表示される際に音声出力装置から出力される音声の態様を決定する音声態様決定手段と、

前記変動表示態様決定手段による決定結果に基づいて、前記可変表示装置上の識別情報を変動表示させるとともに、所定時間経過後に前記識別情報の変動表示を停止させる変動表示制御手段と、

前記音声態様決定手段による決定結果に基づいて、前記音声出力装置から音声を出力させる音声制御手段とを備え、

前記変動表示制御手段は、前記識別情報の変動表示を完全に停止するまでに、少なくとも 1 つの識別情報を仮停止させた後、再び変動させる再変動表示を複数回行う機能を有し、

前記音声制御手段は、前記識別情報が仮停止された回数に従って、出力させる音声の態様を変化させることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の第 1 の観点にかかる遊技機は、予め設定された変動開始条件を満足する場合、可変表示装置（例えば、特別図柄表示装置 4）上に表示される複数の識別情報の変動表示の過程及び結果を決定する変動表示態様決定手段と、前記複数の識別情報が変動表示される際に音声出力装置（例えば、スピーカ 8 L、8 R）から出力される音声の態様を決定する音声態様決定手段と、前記変動表示態様決定手段による決定結果に基づいて、前記可変表示装置上の識別情報を変動表示させるとともに、所定時間経過後に前記識別情報の変動表示を停止させる変動表示制御手段と、前記音声態様決定手段

による決定結果に基づいて、前記音声出力装置から音声を出力させる音声制御手段とを備え、前記変動表示制御手段は、前記識別情報の変動表示を完全に停止するまでに、少なくとも1つ（1つでも、全てでもよい）の識別情報を仮停止させた後、再び変動させる再変動表示を複数回行う機能を有し、前記音声制御手段は、前記識別情報が仮停止された回数に従って、出力させる音声の態様（例えば、発音回数、音の長さ、音階、音調、音量）を変化させる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記遊技機では、識別情報の仮停止、再変動が、所定回数繰り返して行われ、これと共に音声が出力される。その度に、リーチ表示態様や大当たり表示態様に变化したり、より高い遊技価値を有する大当たり表示態様に变化したりするというように、遊技者の期待感を高める演出がなされるとともに、前記識別情報が仮停止された回数に従って、出力させる音声の態様（例えば、発音回数、音の長さ、音階、音調、音量）が変化する。具体的に、前記音声制御手段は、仮停止の回数が多くなる毎に、発音回数を増やしたり、音階や音量を高くしたりといったことが行われる。これにより、上記遊技機は、遊技者の期待感を高めていくとともに、効果的な演出を行うことができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記目的を達成するため、本発明の第2の観点にかかるコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、予め設定された変動開始条件を満足する場合、可変表示装置上に表示される複数の識別情報の変動表示の過程及び結果を決定する変動表示態様決定処理と、前記複数の識別情報が変動表示される際に音声出力装置から出力される音声の態様を決定する音声態様決定処理と、前記変動表示態様決定処理による決定結果に基づいて、前記可変表示装置上の識別情報を変動表示させるとともに、所定時間経過後に前記識別情報の変動表示を停止させる変動表示制御処理と、前記音声態様決定処理による決定結果に基づいて、前記音声出力装置から音声を出力させる音声制御処理とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録するもので、前記変動表示制御処理は、前記識別情報の変動表示を完全に停止

するまでに、少なくとも１つの識別情報を仮停止させた後、再び変動させる再変動表示を複数回行う機能を有し、前記音制御処理は、前記識別情報が仮停止された回数に従って、出力させる音声の態様を変化させる。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

上記目的を達成するため、本発明の第３の観点にかかる変動表示方法は、予め設定された変動開始条件を満足する場合、可変表示装置上に表示される複数の識別情報の変動表示の過程及び結果を決定する変動表示態様決定手順と、前記複数の識別情報が変動表示される際に音声出力装置から出力される音声の態様を決定する音声態様決定手順と、前記変動表示態様決定手順による決定結果に基づいて、前記可変表示装置上の識別情報を変動表示させるとともに、所定時間経過後に前記識別情報の変動表示を停止させる変動表示制御手順と、前記音声態様決定手順による決定結果に基づいて、前記音声出力装置から音声を出力させる音制御手順とを含み、前記変動表示制御手順は、前記識別情報の変動表示を完全に停止するまでに、少なくとも１つの識別情報を仮停止させた後、再び変動させる再変動表示を複数回行う機能を有し、前記音制御手順は、前記識別情報が仮停止された回数に従って、出力させる音声の態様を変化させる。